

## 職員による自己評価

## A 環境面

- ・活動スペースは確保出来ているが、人数により狭く感じることもある
- ・もっとしかりした静養室があると良い
- ・職員の人員配置に余裕がない
- ・無理に受け入れないで欲しい

## B 児童への支援内容

- ・活動プログラムの立案は職員全体では行えていない
- ・児童によっては活動プログラムのバリエーションが少ない
- ・専門的支援の実施が出来ている

## C 関係機関との連携

- ・必要に応じて学校との連携は取れている
- ・地域イベントへの参加は積極的
- ・障害のない子ども達と活動することは殆どない

## D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・送迎時に過ごし様子や LINE による連絡相談等の情報共有を実施
- ・保護者会はない

## E 非常対応

- ・マニュアルに準拠しての対応
- ・災害時の避難訓練は定期的実施している
- ・災害発生後の行動手順をもっと詳しく決めてほしい

## 保護者による評価

## A 環境面

- ・フロアがもう少し広いと良い
- ・部屋が暗く感じる
- ・職員入れ替えの案内が不十分
- ・玄関前の段差が気になる

## B 児童への支援内容

- ・保護者・子供のニーズに合わせて支援を行っている
- ・活動プログラムが固定化されない工夫がされている
- ・畑で収穫した野菜など、普段食べられないものを食べてくれるのは嬉しい
- ・天気の良い日は公園などへの外出を増やしてほしい
- ・障害のない子ども達との交流があるか分からない

## C 事業所からの情報発信

- ・LINE やInstagramで連絡をもらっている
- ・インスタ等でもっと子供の画像を増やしてほしい
- ・保護者会は参加できなので不要と思う

## D 非常対応

- ・避難訓練は実施しているが、その他必要な訓練についてはよく分からない
- ・家族が感染症に罹患した際の利用を状況により緩和してほしい

## 事業所内での分析

## 【共通点】

- ・アンケート結果により、多くの（9割以上）保護者様には、満足頂いている
- ・放課後児童クラブや児童館など、障害のない子ども達と交流や一緒に活動する機会がほとんどない
- ・保護者会がない

## 【相違点】

- ・環境・支援内容・情報発信など、細かな部分で物足りなさを感じている方が少数いらっしゃる、ご要望も多岐に渡る為、より一層の対話と情報発信を行い、支援の質を落とさずに出来ることを整理する必要がある
- ・ご利用者様と職員がともに安心して、過ごせる場所・働ける場所として、更なる環境の改善が必要

## 分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・ 自然が豊かな立地に面し、周辺環境が良い
- ・ 農園で収穫される食物等を調理して食す機会が多く食育に繋がる
- ・ 身辺自立に関する活動が充実している
- ・ 関連事業所との交流（クリスマス会など）
- ・ 経験豊富な職員が多い（専門性が高い）
- ・ 個別創作と集団創作を毎月実施
- ・ 五領域を網羅する療育プログラム
- ・ SNS を活用した情報発信

### 事業所の改善点

- ・ きめ細かなサービスを提供する為の工夫
- ・ 事業所の活動や取り組みについての周知不足

### 事業所の改善への取り組み

- ・ お子さまの過ごしの様子など LINE、SNS をより一層活用し、今後も継続して積極的な情報発信を実施致します。
- ・ 保護者様との対話の機会を増やし、疑問な点や不安に感じていること、将来に向けてのご相談ごとも含め、こちらから積極的にお声掛けさせて頂き、現状の把握と課題を整理し、安心して過ごして頂く為の環境を再構築していきたいと思っております。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・ 今回、頂いたアンケートを参考に、より一層きめ細やかな支援を心がけ、職員一同真摯に取り組んでいきます。今後とも当事業所の活動と取り組みにご理解頂き、ご協力賜りたく存じます。

事業所名 キッズわん あおぞら

担当者 間瀬 一馬